JEFF ROWLAND
DESIGN GROUP

# Model 501

## 取扱説明書

株式会社 太陽インターナショナル

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-12-9
日本橋グレイス 1F

Tel : 03-6225-2777 Fax : 03-6225-2778

<URL> http://www.taiyo-international.com

太陽インターナショナル

# 目次

はじめに ........ 2
本機の特徴 ........ 3
ご使用になる前に（安全にお使いいいただくために） ........ 4
パッケージの中身 ........ 5
パッケージの開梱 ........ 6
メンテナンス、お手入れ、保護システムについて ........ 7
ご使用方法 ........ 8
フロントパネルの機能と表示 ........ 9
リアパネルの電源接続 ........ 10
リアパネルのシグナル接続 ........ 11
内部の調整 ........ 12
故障かな？と思ったら ........ 13
アフターサービスについて ........ 14
仕様 ........ 15
問い合わせ先 ........ 16

# はじめに

ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ製造アンプのオーナーとなられましたことを、心よりお喜び申し上げます。お買い上げいただきましたオーディオパワーアンプは、様々な機能コントロールと、インターコネクトの可能性を兼ね備え、最新の技術を結集したモノラルパワーアンプです。綿密に設計された回路構成、精密切削加工のシャシー、最新の堅実な製造技術は聴き手に大きな満足と喜びを提供し続けることでしょう。

モデル 501 の設計理念を理解していただきその最高の性能をフルに引き出すためにも、また長年にわたり最良のコンディションでご使用いただけますよう、是非このオーナーズマニュアルをお読みくださるようお願い申し上げます。

お買い上げのパワーアンプのシリアルナンバーは、MD の文字から始まります。このナンバーは保証書及び本体のリアパネルに記載してあります。モデル 501 に関するお問い合わせの際には、必ずこのシリアルナンバーをお知らせください。

音やアーティストの表現を再現する際の高邁な理想を実現できるようなアンプをデザインすることは、私にとって純粋な喜びです。この喜びがオーナーの方々の音楽体験をより豊かにできれば幸いです。

*Enjoy the music!*

ジェフ・ロゥランド
ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ　プレジデント

# 本機の特徴

・出力デバイスは第 5 世代の出力素子といわれるほどの優れた特性を持つ ICE パワーで、その美点を100% 引き出し、スムーズで迫力に富んだ音質、音場を再現します。ICE パワー自体ゲインが高く、パワーサプライからの DC 電流が少なくてすむ高効率デバイスで、パワーサプライのスピードと電磁波防御などの面で大きなメリットがあります。シグナルパスが極端に短い設計を可能にしたこのデバイスは高調波歪が 0.01%と非常に少ないだけでなく、混変調歪が 0.003%（CCIF 19/20k Hz）と並外れて少なく、豊かで自然な倍音成分、透明で澄みきった音楽が描かれます。原音には存在しない付帯音が再生音に加わらないように混変調歪の低減を目指すことはジェフ・ロゥランドの設計目標の一つです。ICE パワーの電圧、インピーダンス、ノイズなどの変動に強いという性質によって、モデル 501 は 120dB という生演奏に近いダイナミックレンジを達成し、しかも生演奏の豊かなグラデーションを再現します。ダイナミックレンジとは音圧ピークに対するノイズの比ですが、その数値が大きければ大きいほど実際の演奏に近い静かなアンプということが分かります。オーディオの魅力であり楽しみでもある、何もない空間から響き渡る鮮度の高い音が広いステージ感とともに得られます。高いダイナミックコントラストときめ細かい階調表現によって本当の意味でライブに近い演奏が楽しめる高品位アンプの誕生です。

・超高効率の出力セクションは、ほとんど発熱せずにハイパワー出力を供給できます。

・入力トランスはプリアンプなど他の機器とのインピーダンスマッチングを最適に合わせることができ、多様な組み合わせに対応できます。またグラウンドループ・ノイズや EMI を除去する効果も大きいのです。

・スピーカー出力端子の接続にはドライバーなどの工具は必要ありません。

・入力から出力まで、完全なバランス回路設計になっています。

・リモートスイッチ ON ／ OFF 用入力端子をリアパネルに配備しました。

・ ゲイン感度は内部ジャンパーで 26dB と 32dB に切替可能です。スピーカーの能率にあわせて変更が可能です。

・1 個の 6061 グレードのハードアルミブロックから削りだした新設計高剛性シャーシの採用により、共振を極限までシャットアウト、電気信号以外の付帯共振音を限りなくゼロ近くに追い込むことに成功しました。

# ご使用になる前に（安全にお使いいただくために）

本機をご使用になる際には、安全上のご注意をよくお確かめ下さい。
以下の注意事項は安全にお使いいただくために大切な内容です。必ず守るようにして下さい。

⚠警告 ： 誤って取り扱うと、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。
⚠注意 ： 誤って取り扱うと、傷害又は物的損害などの発生に結びつく可能性があります。

［設置上のご注意］

⚠警告

・定格電圧AC 100V にてご使用下さい。
・付属の AC 電源ケーブルは、本機専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。
・ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になります。
・AC電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
・AC電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねっじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
・本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。
・水など塗れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
・本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
・万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐにAC電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことを確認してからお買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

⚠注意

・本機を設置する際にはこの取扱説明書に従って確実に行うようにして下さい。
・本機の取り出し、及び設置する際には細心の注意をし、慎重に行うようにして下さい。落下等でケガや物損を招く原因になります。
・湿度の多い場所で使用しないで下さい。結露等により故障の原因となります。
・ゴミやホコリの多い場所では使用しないで下さい。
・室内温度が5℃～40℃の範囲でご使用下さい。
・振動が多く、水平でない場所には設置しないで下さい。機器の落下等でケガや物損を招く原因になります。
・オーディオラック等に納めてご使用になる場合、通風をしっかり取るなど熱のこもりには充分注意して下さい。故障の原因になる場合があります。
・スピーカーケーブルの接続は、必ず電源が入っていないことを確認してから行って下さい。電源を入れたままスピーカーケーブルの「＋」と「－」をショートさせると故障の原因となります。

［お手入れについて］

・本体の汚れは、柔らかい乾いた布（シリコンクロス等）で軽く拭き取ってください。ベンジンやシンナーなど揮発性の薬品のご使用は、絶対におやめください。本体の表面が変質する恐れがあります。

⚠注意

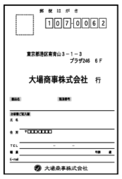
・リアパネルの端子等のお手入れの際には、必ずAC電源ケーブルを抜き電源をお切り下さい。感電の原因となることがあります。

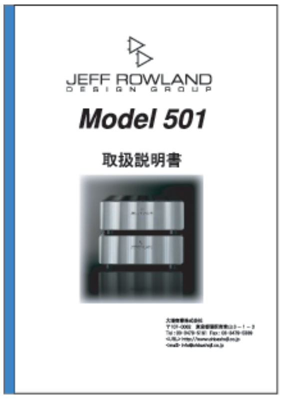
# パッケージの中身

モデル 501 のパッケージには下記のものが含まれています。

・モデル 501 モノラル　パワーアンプ（本体）
・AC 電源ケーブル
・保証登録カード
・取扱説明書

注意：付属の AC 電源ケーブルは、モデル 501 専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。



# パッケージの開梱

モデル 501 は重量もあります。本機の取出し、及び設置の際には細心の注意で慎重に行なって下さい。落下等で怪我や物損を招く原因となります。開梱は柔らかい表面のカーペット等を敷いた上で行なってください。

開梱後のカートンケース、及び内部パッキン等は、後日の修理及びお引越等で輸送される場合に備えてお手元に保管されるようお勧めします。

※ 本製品は米国ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ社、及び当社において外観、機能ともに入念な検査を重ねて出荷しておりますが、輸送中などの万一のトラブルを考え、ご使用になる前にどこかに損傷がないかを必ずご確認ください。また到着したアンプが正しく作動しないときは、すぐお買い求めの販売店までご連絡ください。

# メンテナンス、お手入れ、保護システムについて

ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループの製品は、長年に渡りその音楽的性能をお楽しみいただけるように設計いたしました。内部に埃が入らないようにシャシーは密封構造となっており、シャシー内部をクリーニングする必要はありません。内部の回路は調整やメンテナンスの必要がないように、自動調整できるようになっています。修理等の際には、お買い求めの販売店か当社サービス課までお知らせ下さい。

モデル 501 のシャシーは継ぎ目のない一体構造とし、航空機グレードのハード・アルミニウムによるくり抜き加工という、コストを無視した革新的な構造になっています。フロントパネルはダイヤモンド・カッティングツールで削り出されています。このユニークな工程は、美しく魅力的な製品をお届けするために、長年の研究、試行によって完成されたものです。

表面は通常のオーディオやビデオの表面とは異なっていますので、お手入れの際は以下の点にご注意下さい。

- 最初の6ヶ月間はフロントパネルのクリーニングは行わないで下さい。この間に表面のコーティングが定着し、表面の傷を防ぎます。
- トップカバー、サイドカバー、ボタンカバーは、水で湿らせた柔らかい綿布で拭きます。水はシャシーには直接つけず、布につけます。シャシーに跡が残った場合、研磨剤や化学物質によるクリーナーは使わないで下さい。クリーナーが必要な場合は、アンモニアを含まないプラスチック・クリーナーまたはガラス・クリーナーをご使用ください。
- フロントパネルのお手入れには、水またはオイルベースの家具用クリーナーを使用します。必ず柔らかい綿の布につけてから拭いてください。フロントパネルは非常に繊細な仕上がりですので、他のもので拭いた場合、目立つ傷がつく可能性があります。

モデル 501 のクリーニングに関する質問は、お買い求めの販売店か当社サービス課までお問い合わせ下さい。推奨しないクリーナー等を使うとシャシーを損傷する恐れがあります。

## ＜保護＞

雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するため、アンプの AC 電源ケーブルは抜いておいてください。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様に AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。

また長期間使用しないときにも AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。

# ご使用方法

アンプの設置場所は、できるだけリアパネルの操作が可能な場所に置いてください。

モデル 501 は、ファンや強制的なエア・フローを必要としない発熱の少ない、非常に効率的なアンプです。アンプを安定に動作させるため、ラック等に収納する際には上方に隙間を空けて設置してください。

モデル 501 はアンプの最も効率的なオペレーション、あらゆる環境下での最高のパフォーマンスが可能なように、広範囲にわたる保護回路を有しています。しかしアンプを正常動作させるため、以下の基本事項に着目しておいてください。

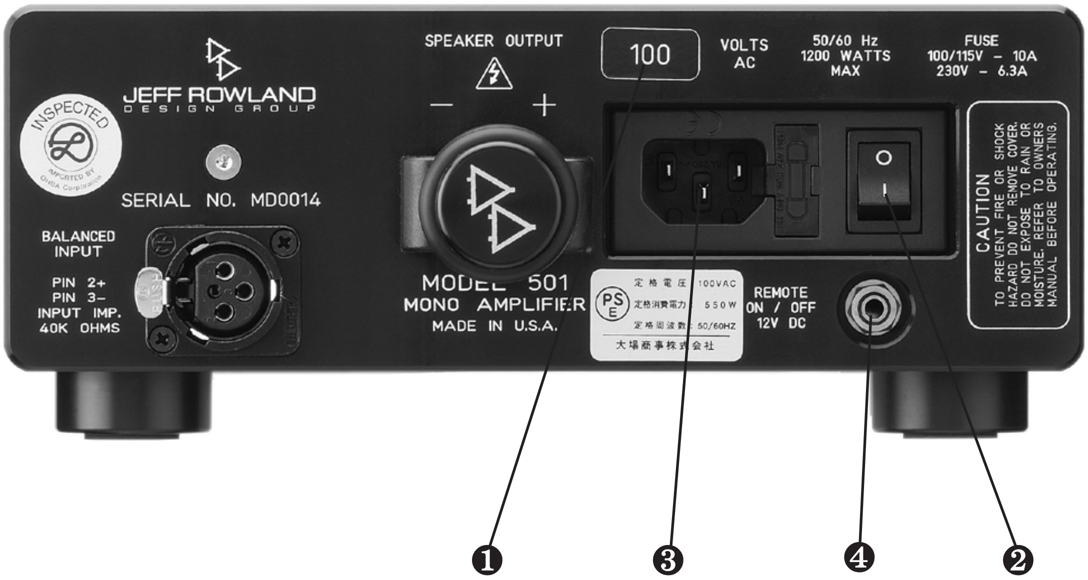
- 定格電圧 AC100V にてご使用下さい。
- 湿度の多い場所では使用しないで下さい。
- ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になりかねません。
- AC 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
- AC 電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねっじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
- 本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。（改造されたものは、保証期間内でも保証の対象外となりますのでご注意ください）
- 水などで濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
- 本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐにAC電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことをご確認の上、お買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのままの状態でご使用になると、火災・感電の原因になります。
- モデル 501 を使用の際は、正しくグラウンドされた AC 電源を使用してください。3ワイヤのグラウンドされた AC ケーブルターミナルが正しくセットされていなかったり、誤って2ワイヤのグラウンドされていない AC コードが使用されている場合、故障の原因になりかねません。
- 雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するためアンプの AC 電源ケーブルは抜いておいてください。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様に AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
  また長期間使用しないときにも AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
- スピーカーケーブルの接続は、必ず電源が入っていないことを確認してから行って下さい。電源を入れたままスピーカーケーブルの「＋」と「－」をショートさせると故障の原因となります。

# フロントパネルの機能と表示

パワー ON/OFF インジケーター

パワー ON/OFF インジケーター：アンプが ON の時はこの小さいブルーのライトがつきます。

# リアパネルの電源接続




重要：以下の手順に従ってください。

❶日本仕様の電源電圧 100V を表しています。

❷ AC 電源スイッチが OFF になっているか（「○」が押されていて「｜」が突き出ている）確かめてください。

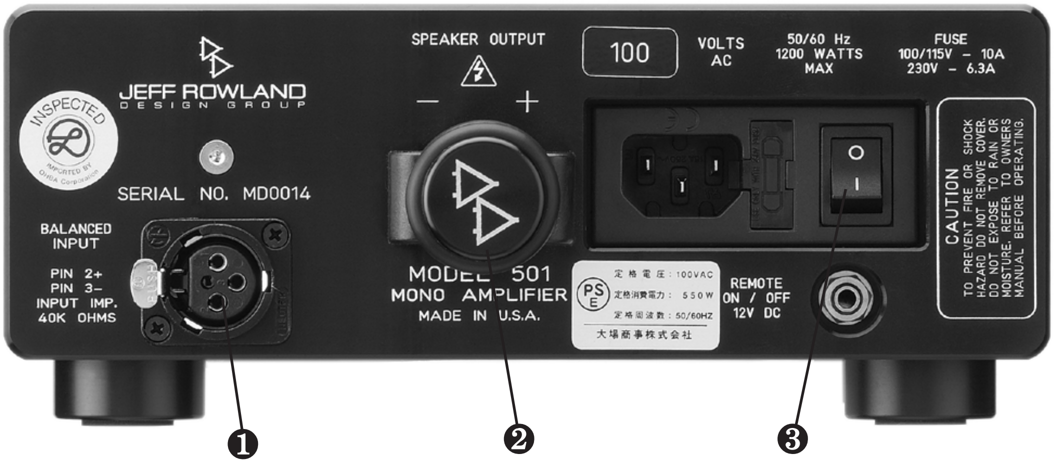
❸ AC 電源ケーブルをアンプとコンセントに接続してください。

❹リモート ON ／ OFF ミニプラグコネクター（オプション）を接続してください。

注意：モデル 501 の消費電力は非常に低いので（アイドリングモードで 15W)、アンプの位置を変える時等以外はコンセントを抜く必要はありません。

注意：リモートコントロールはスタンバイモードへの切り替えのみです。詳細については販売店か当社サービス課にお問い合わせ下さい。

# リアパネルのシグナル接続




スピーカーやケーブルの接続は、アンプの電源を必ず OFF にして行なってください。（フロントパネルのブルーライトが消えている状態です。）電源を入れたままスピーカーケーブルの「＋」と「−」をショートさせると故障の原因となります。

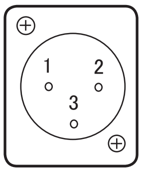
バランスケーブルを「BALANCED INPUT」❶に接続します。バランス（XLR）ケーブルが正しく接続され、ロックするとカチッという音がします。XLR ケーブルをアンプから外す時は、ロック解除のタブ（入力端子部分 PUSH という表示あり）を押してください。

SPEAKER OUTPUT ❷の円形ノブをゆるめ、端子へのアクセスが可能な状態にします。スピーカーケーブルのプラス（通常、赤）を、プラス端子に、スピーカーケーブルのマイナスをマイナス端子に、左右それぞれのチャンネルについて接続してください。スピーカーの接続がきちんと閉まったかを、指で動かすなどして確認します。

モデル 501 はスピーカーケーブルはスペードプラグ（Yラグ）のみ受けつけます。バナナプラグや未処理のワイヤ – は使用できませんので、必ず処理をしてからご使用ください。

警告：アンプは店頭でのデモに使われるようなスピーカーの切り替えスイッチボックスなどを介しての使用はできません。損傷がおこる可能性があります。

本機の [BALANCED XLR] 端子はキャノン仕様のバランス型入力端子です。




＃1　シールド　（G）
＃2　ホット　（＋）
＃3　コールド　（−）

AC 電源スイッチ❸を ON にする（「｜」が押されていて「〇」が突き出ている）とフロントパネルのランプがブルーに点灯し、アイドリングモードになります。発熱がほとんど無いため、常時このモードで使用することをお勧めいたします。（アイドリングモードの消費電力は 15W 以下）

# 内部の調整

モデル 501 のゲイン感度は 26dB と 32dB のどちらかに調節できます。初期設定はほとんどのアプリケーションに最適な標準値といえる 26dB にセットしてあります。能率の低いスピーカーをご使用の場合には 32dB がよいでしょう。どちらのゲイン感度でも音の違いはありませんので、プリアンプのボリゥーム位置によって、最適な音圧を得るように設定します。

注意：ゲイン感度の調整については必ず販売店か当社サービス課にお問い合わせ下さい。

# 故障かな？と思ったら

故障とお考えになる前に、下記の点を確認してみてください。

電源が入らない
・AC電源ケーブルは、正しく接続されていますか。
・コンセントに AC100V が通じていますか。

音が出ない
・オーディオケーブル（ラインケーブル、スピーカーケーブル）は、正しく接続されていますか。
・電源スイッチを ON にしていますか。

以上、上記の項目をご確認の上なお製品に異常が見られる場合は、お買い求めの販売店又は当社サービス課までご相談ください。

# アフターサービスについて

・同封の保証登録カードに必要事項をご記入の上、ご購入後10日以内にご返送ください。折り返し当社発行の保証書をお送りいたします。規定通りの手続きをなさらないと、保証期間内でも有償修理となる恐れがありますので、ご注意ください。なお、「保証書」は製品無償修理の際、必ず必要となりますので、お客様ご自身で記載内容をご確認の上、大切に保存してください。

・保証期間はお買い上げより1年です。保証期間内に正常なご使用状態で起きた故障等は保証書記載事項に基づき、無償修理いたします。

・故障と思われる場合にはこの取扱説明書をよくお読みになり、再度接続と各部の動作、点検をしていただきなお異常のある場合には、お買い求めの販売店、又は当社サービス課までご連絡いただき、修理をご依頼ください。

# 仕様

| | |
|---|---|
| 入力端子 | |
| 　バランス | 1系統（XLR） |
| 出力端子 | |
| 　スピーカー端子 | 1系統＜カルダス社製＞ |
| 出力（連続 RMS W） | 8Ω　500 w<br>4Ω　1000W |
| 周波数特性 | 5Hz ～ 45kHz, 3dB |
| ダイナミックレンジ | 120 d BA |
| THD+Noize（高調派歪 + ノイズ）、<br>0.1W ～ 500W/4Ω | 最大 0.1%、通常 0.01%@1kHz |
| CCIF IMD（混変調歪） | 0.003% 未満（19/20kHz CCIF） |
| オーバーオール・ゲイン | 26dB または 32dB（内部で変更可能） |
| 入力インピーダンス | 40kΩ |
| コモンモード除去率 | 90dB 以上 , 20 Hz – 20 kHz |
| アブソリュート・フェーズ | Pin 2 (+) |
| 消費電力 | 15 W　（アイドル）<br>1300W　（最大） |
| 重量 | 7.8kg |
| 外寸 (cm) | 21.3(W)×8.6(H)×37.3(D) |

※ 本機の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

# 問い合わせ先


## 大場商事株式会社　オーディオ事業部

〒107-0051

東京都港区元赤坂 1-5-7　ラ・ベリテ・AKASAKA 5F

TEL：　03-3479-5181（代表）

　　　 03-3479-8878（サービス課）

FAX：　03-3479-5339

メールアドレス：　info@ohbashoji.co.jp

　　　　　　　　 support@obhashoji.co.jp

ホームページ：　http://www.ohbashoji.co.jp